

校訓	真善美	令和6年度 学校通信	発行日	令和7年3月7日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 3月 March 弥生 第30号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【節目に向かい、自分にできることに、悔いのないよう全力を注ぐ!】

昨日、「卒業生を送る会」がありました。生徒会本部役員のみなさんが、念入りに準備し、心を込めて進行してくれました。卒業生に感謝の気持ちを伝えるため、1, 2年生で作成したビデオメッセージを全校生徒で観て、感謝の気持ちがこみ上げると同時に、さみしい気持ちから涙を流す卒業生だけでなく、在校生の姿もあり、温かく素敵な時間となりました。



今年度の卒業式は、3月14日(金)です。この日にむけた代表生徒からのメッセージからは、「新しい伝統をつくる」強い意志と覚悟を感じました。厳粛、かつ盛大に、全校生徒と全職員で、練習、準備を重ね、みんなで創り上げていくために、ひとりひとりの意識が必要です。卒業式は、体育館に全校生徒(612席)、3年生の保護者(400席)、来賓をお迎えして、行います。本日から、1, 2年生合同の式練習も始まりました。式練習も、TPOに合わせて本番同様式服で行います。もちろん、先生方もTPOに合わせた服装で指導しておられます。本番に向けて気持ちをつくり、緊張感をもって参加し、卒業生の門出を祝福しましょう。

卒業式は、卒業生にとっては、9年間の義務教育の集大成を示す日です。

特別な意味を持つこの儀式的行事は、学校教育の集大成として、世界に誇る「日本人の礼儀正しさやマナーの良さ」につながります。

- ・卒業生にとっては、自らの成長に誇りをもち、それを支援してくれた保護者、地域の方々、先生方への感謝と将来への決意を示す機会となります。そして、先輩方が、築き上げてきた伝統を受け継ぐ在校生の姿を示す日でもあります。
- ・在校生にとっては、バトンをしっかりと受け取る日であり、来年、再来年は自分事です。
- ・保護者にとっては、義務教育を終える、こどもの成長をかみしめる日です。
- ・地域にとっては、育てた子どもの晴れ姿を祝う学校最大の行事です。

来週は、毎日式練習があります。本番だけでなく、練習から**式服での参加**となります。

髪型、白の靴下、白い下着などの準備をお願いします。心(意識)は、行動=TPO

【卒業式練習の予定】

- 6日(木)⑥3年生式練習
- 7日(金)①②3年生式練習④1, 2年生式練習⑤⑥3年生お別れ会
- 10日(月)①②③3年生式練習④1, 2年生式練習
- 11日(火)①3年生式練習②1, 2年生式練習③④合同練習、謝恩会
- 12日(水)3年生公立高校入試 ②1, 2年生式練習
- 13日(木)①3年生式練習②1, 2年生式練習③④予行
- 14日(金)9:30開式『第44回卒業証書授与式』



